

とんぐい村の こみ・すく通信

令和元年 8 月 25 日発行 第 8 号
更別村コミュニティ・スクール委員会

更別中央中学校 第 2 回学校運営協議会

前日の更別小学校に引き続き、8 月 22 日、更別中央中学校で学校運営協議会が開催されました。

はじめに和田教頭先生から 1 学期の教育活動や部活動の成績について、宝輪校長先生からはその内の保護者・地域に支えられた活動について、さらに菅谷先生から学校で困っている点、地域にお手伝いいただきたいことについてお話がありました。



生徒会が企画した「それいけ！更中ゴミ拾い隊」の活動に、地域の方から匿名の感謝の手紙が届いたそうです。

地域の環境を地域の中学生が守り、同時に環境美化意識を育てていこうとする取組ですが、それを高く評価する地域の存在が、子どもたちのモチベーションをさらに高められます。



中学校では今年から、職員の打合せの時間帯に朝の読書活動を行なっています。読書離れを防ぎ、一日を落ちついてスタートするため、静かに自分の好きな本を読むという活動ですが、先生方が付けません。

委員さんからは、既に退職されたシルバー人材の方たちなどをお願いし、朝の交通安全街頭指導を兼ねて、子どもたちと一緒に登校し、読書活動（8:10～8:20）を見守っていただくようなサイクルを作れないかというご意見をいただきました。



他にも、体育祭前のグラウンドの乾燥や、その後の雑草の繁茂への対応に困っているというお話もありました。

CS は、学校任せ、保護者任せではなく地域全体で目標を共有し、子どもたちの学びを支えていこうという取組です。

まずは、目標や実態、成果や困難点などの情報を共有し、アイデアや教育資源、マンパワーを持ち寄って取り組んでいくための仕組みづくりが大切です。

今回の運営協議会でも、様々な立場の皆さんから、たくさんのアイデアや情報をいただくことができました。

更別中央中学校では 10 月に、2 年生の職業体験が予定されています。職業体験は「生徒が直接働く人と接することにより、また、実際的な知識や技術・技能に触れることを通して、学ぶことの意義や働くことの意義を理解し、生きることの尊さを実感させる」大切な学習です。また「生徒が主体的に進路を選択決定する態度や意志、意欲などを培うことのできる教育活動」として、重要な意味を持っています。

例年、地域の各事業所・商店等にお世話になっているところですが、今年も「みんなの学校応援団」として、ご協力いただけるようお願いします。